

語り部の経営者たち

ジャーナリスト 田中幾太郎

はせがわ長谷川房生会長 67歳

① まれからどっと 増えていくんです

あどけない少女が「おてのしわとしわを合わせて幸せ」と合掌するCMでお馴染みの「はせがわ」仏壇最大手の同社は業界では唯一、東証1部に上場。近年は墓石事業や葬儀サポート業にも参入し、3兆円近いとされる供養マーケットのリーダー的存在になっている。

今年で創業85年。創業家のDNAを受け継ぎ、08年から3代目の社長を務めていたのが長谷川房生氏。今年6月、会長に就任した。

長谷川氏は終戦翌年の46年11月、福岡県直方市で創業者・長谷川才蔵氏の次男として生まれた。

「団塊の世代のはしりですね。8月以前に生まれた同級生は少ないんですが、9月生

「花子とアン」に登場した炭鉱の町で生まれ育った



生まれ育った直方市は筑豊地方の北端に位置する。筑豊といえば、9月まで放送していたNHK連続テレビ小説「花子とアン」に登場した炭

記に新しいが……。記憶に新しいが……。「あの方は隣の飯塚市。こちらの直方市にはさらにスケールの大きい貝島太助という炭鉱王がいた。貝島さんはとくに亡くなっています。私が幼いころはまだ、すごい私生活があった。うちの商店の裏通り側は花柳界で、立派な料亭が6軒すらすらと並び、そ

の前を華やかな衣装に身を包んだ芸者さんたちがゾロゾロと歩いていた」

長谷川少年にとっては目の毒だったかもしれない。今の東京・新宿のように何時になっても明かりが消えない不夜城だった。

「料亭だけでなく、屋台もたくさん出ていて、連夜ドンチヤン騒ぎ。炭鉱に入れば、生

きて帰れるかどうか分からない炭鉱員さんたちは、宵越しの力ネは持たないという人が多かった」

そんな環境にあったからだろう。間違った道に迷いこんではいけないとばかり、父は息子を厳しくしつけた。

「軍隊に2回行って父は兵隊さんと同じやり方で子ど

にも対した。何か悪いことをするとすぐに殴るんです。それも往復ビンタで。とにかく怖かった」

長谷川家は代々続く庄屋の一族だったが、父・才蔵氏の少年時代は決して恵まれたものではなかった。6歳で父、10歳で母を亡くし、いばらの道に放り込まれることになっ

東映↓テラ↓はせがわ↓ロイヤル↓サイボクハム

語り部の経営者たち

ジャーナリスト 田中幾太郎

はせがわ長谷川房生会長 67歳

「行商では体を売っていた時、隣のベ

れしてしまっただけです」

2年間の文通を経て、才蔵氏はタツさんにプロポーズ。そのままゴールインした。

「母は一言でいえば、豪傑」でした。酒もたばこもやる。まったく飲まない父に代わって、外回りが全部、母が担当していた。料亭に行くと踊った

り、うちに税務署や警察の人が来れば、酒を酌み交わし、相撲まで取っていた。なんと、男たちが母のほろが強かった」

学校の入学式には6歳上の兄が付き添いで来た。同級生の中に生意気なのがいたんで、兄から「あいつとケンカしてこい」と言われ、やつつけた。以来、一目置かれるようになり、クラスで「長谷川」と呼び捨てにされたことがないんです」

長谷川房生氏が「とにかく働き者だった」と語る父・才蔵氏は1929年、22歳の時に奉公先から独立。福岡県直方市に長谷川仏具店を創業した。第1次大戦後の恐慌が地方にも暗い影を落と

していた時代だ。グループに入れてもらって、そこで父は商売のコツをつかんだ。どうい

う場所を置いたら商品が売れるか。露天商の仲間には真面目な人も不真面目なのもいて、人を見る目があって元気がいっぱい

に働いて母を見て父は一目惚れした。料亭に行くと踊った

「戦時中はお坊さんも戦争に行った。母は残された奥さんたちの慰問に回っていたんです。一升瓶と三味線を持ってお寺に行き、一緒に飲んで踊った。面倒見が良くて、姉御肌なんです」

そうしたタツさんの気性は一番受け継いでいるのは、長谷川氏かもしれない。見た目は往年の二枚目俳優・二谷英明に似て隙のない紳士という感じの長谷川氏だが、少年時代はガキ大将だった。

「両親が忙しいので、小から。あの時は大変だったよ」と言われました」

酒もたばこも相撲もやるとにかく豪傑な母親の気性を受け継いだ

「店を開けても、まったく売れず、しょうがないので自分の田舎に行商に出かけるんですが、仏壇を

買う余裕がある家庭など、ほとんどなかった。しばらくするとハードワークがたたり、父は血を吐いてしまっただけです」

結核だった。症状はそれほど重篤なものではなかったものの、あまり無理はできなくなった。

「店を開けても、まったく売れず、しょうがないので自分の田舎に行商に出かけるんですが、仏壇を

買う余裕がある家庭など、ほとんどなかった。しばらくするとハードワークがたたり、父は血を吐いてしまっただけです」

結核だった。症状はそれほど重篤なものではなかったものの、あまり無理はできなくなった。

「店を開けても、まったく売れず、しょうがないので自分の田舎に行商に出かけるんですが、仏壇を

「店を開けても、まったく売れず、しょうがないので自分の田舎に行商に出かけるんですが、仏壇を

買う余裕がある家庭など、ほとんどなかった。しばらくするとハードワークがたたり、父は血を吐いてしまっただけです」

結核だった。症状はそれほど重篤なものではなかったものの、あまり無理はできなくなった。

「店を開けても、まったく売れず、しょうがないので自分の田舎に行商に出かけるんですが、仏壇を

買う余裕がある家庭など、ほとんどなかった。しばらくするとハードワークがたたり、父は血を吐いてしまっただけです」

結核だった。症状はそれほど重篤なものではなかったものの、あまり無理はできなくなった。

「店を開けても、まったく売れず、しょうがないので自分の田舎に行商に出かけるんですが、仏壇を

「店を開けても、まったく売れず、しょうがないので自分の田舎に行商に出かけるんですが、仏壇を

買う余裕がある家庭など、ほとんどなかった。しばらくするとハードワークがたたり、父は血を吐いてしまっただけです」

結核だった。症状はそれほど重篤なものではなかったものの、あまり無理はできなくなった。

「店を開けても、まったく売れず、しょうがないので自分の田舎に行商に出かけるんですが、仏壇を

買う余裕がある家庭など、ほとんどなかった。しばらくするとハードワークがたたり、父は血を吐いてしまっただけです」

結核だった。症状はそれほど重篤なものではなかったものの、あまり無理はできなくなった。

「店を開けても、まったく売れず、しょうがないので自分の田舎に行商に出かけるんですが、仏壇を

左端が母タツさん。父親に抱かれる房生氏(写真中央)



東映

テラ

はせがわ

ロイヤル

サイボク

ハム

たよ

と言われました

(つづく)

語り部の経営者たち

ジャーナリスト 田中幾太郎

はせがわ長谷川房生会長 67歳

③

中学までは福岡県直

父親よりさらに怖い

止まってハアハアやっ

た。久留米大学付設高

生の家を訪ね、一緒に

される、いきなり

我が世の春を謳歌し

方市の地元の学校に通

存在が、休みになると

ていると、根性が足り

校は今でこそ進学校と

飲んだこともある。か

「オマエ、うちの組に

いた長谷川氏だった

っていたが、高校は自

帰ってくる6歳上の兄

んと鉄拳制裁がく

して知られるが、当時

つて経験したことのな

入る気はないか」と言

が、今でも思い出すシ

宅からだいたい離れた私

だった。龍谷大学で空

る。父にも兄にも殴ら

はおおろかだった。現

い自由を得て、この時

われた。慌てて断り、

ヨッキングな出来事が

立校に進んだ。鳥越俊

手部に入っていた。

れ、中学生の私はこん

在、同校の同窓会会長

とはかり遊びまくって

豪邸をあとにした長谷

起る。親しくしてい

太郎、孫正義・泰蔵兄

弟、堀江貴文らを輩出

した久留米大学付設高

校である。「とにかく

が、在校中はか

高校3年の2学期に

ずいというやく気づ

親元を離れたかった」

という長谷川氏は下宿

生活を始めた。

が、悪さをして

なると、住み込みでク

ラフのバーテンダーの

ことにした。

「家にいると手伝いば

かきさせられ、父から

いちいち指導が入る。

しかし、高校の成績

もともと、地頭は

き荒れていたが、けっ

ては悲惨なものだった。

荷物の解き方、商品の

仕分け、保管の仕方：

。ゴミの片付け方ま

で腰が入っていないと

は悲惨なものだった。

良かったのだろう。地

ころ面白おかしくやっ

怒られた。仕事では殴

られなかったけど、サ

ボってよそで遊んで帰

つてきたりすると平手

格。学園紛争の嵐が吹

が染しくってね。一人

違う姿を演じていた」

打ち。気が短いです」

大学では失恋も経験

「酒もたばこもやって

アルバイトを始めた。

いい関係になりそうな

子がいたんです。結

局、失恋してしまいま

「おい房生、走る

ぞ」と一緒にランニン

グさせられるんです。

功すると、徹底して羽

瓶を2本ぶら下げて先

20畳はある大広間に通

したが」

こちらがバテて、立ち

を伸ばすことに専念し

た。久留米大学付設高

生の家を訪ね、一緒に

される、いきなり

我が世の春を謳歌し

いた長谷川氏だった

校は今でこそ進学校と

飲んだこともある。か

「オマエ、うちの組に

いた長谷川氏だった

が、今でも思い出すシ

ョッキングな出来事が

起る。親しくしてい

豪邸をあとにした長谷

起る。親しくしてい

た友人から「長谷川、オ

マエ仮面をかぶってい

るぞ」と言われたのだ。

以前から、自分にそう

したところがあるのを

うすうす感じていた。

一商店で育ち、演技す

るクセがついていた。

劣等感もあった。当時、

商店街で大きいのは呉

服屋、金物屋、瀬戸物

屋など。仏壇屋なんて

口は小さいし、しょっ

ちゅう売れるものでも

ない。人に認められた

いと、本来の自分とは

違う姿を演じていた」

格。学園紛争の嵐が吹

が染しくってね。一人

違う姿を演じていた」

格。学園紛争の嵐が吹

が染しくってね。一人

違う姿を演じていた」

格。学園紛争の嵐が吹

が染しくってね。一人

違う姿を演じていた」



大学では失恋も経験

1浪して早大政経学部へ滑り込む

高校時代の成績は最下位だが

いたらしい。

ラブのバーテンダーのことにした。

以前から、自分にそう

高校時代の成績は最下位だが

いたらしい。

ラブのバーテンダーのことにした。

以前から、自分にそう

高校時代の成績は最下位だが

いたらしい。

ラブのバーテンダーのことにした。

以前から、自分にそう

高校時代の成績は最下位だが

いたらしい。

ラブのバーテンダーのことにした。

以前から、自分にそう

高校時代の成績は最下位だが

いたらしい。

ラブのバーテンダーのことにした。

以前から、自分にそう

高校時代の成績は最下位だが

いたらしい。

ラブのバーテンダーのことにした。

以前から、自分にそう

高校時代の成績は最下位だが

いたらしい。

ラブのバーテンダーのことにした。

以前から、自分にそう

高校時代の成績は最下位だが

いたらしい。

ラブのバーテンダーのことにした。

以前から、自分にそう

高校時代の成績は最下位だが

いたらしい。

ラブのバーテンダーのことにした。

以前から、自分にそう

高校時代の成績は最下位だが

いたらしい。

ラブのバーテンダーのことにした。

以前から、自分にそう

高校時代の成績は最下位だが

いたらしい。

ラブのバーテンダーのことにした。

以前から、自分にそう

東映テラはせがわロイヤルサイボクハム

（つづく）

語り部の経営者たち

ジャーナリスト 田中幾太郎

はせがわ 長谷川 房生 会長 67歳

④

早稲田大では仏教青年会と雄弁会に入っていた。

仏教青年会は1886年、雄弁会は1902年に発足。同大で1番目と2番目に古いサークルである。数多くの政治家を輩出してきた雄弁会だが、長谷川氏は友人に「仮面をかぶっている」と指摘されてから顔を出さなくなった。くだらんく思えてきたからだ。

「仮面を外そうと思っても、かぶっていない自分かわからないんです。とりあえず、今までの自分をやめようと考えた。私がこれまで人に認められるために身につけてきたものも含め何もかも全部を捨てた。雄弁会だって、その人たちに認められたいから入った。けれど、これからは他人の

大学5年生で結婚、6年で妻が妊娠



目など関係なく、自身が納得できる自分にならなければいけないと……。愛読書もすべて、古本屋に売っ払ってしまいました。

早稲田には結局、6年間の。1年の終わりで60単位が残っていた。当時からバリエードストライクで学校が閉鎖になり、仏教青年会の部屋で麻雀ばかりやっていた。

卒業する気もなかった。卒業する気もなかった。卒業する気もなかった。

「仮面をかぶっている」と指摘されてから顔を出さなくなった。くだらんく思えてきたからだ。

「その間、ほぼ寝なかつた。だんだん興奮してきつても、目を閉じているしかできなかった。で、たのは給料の高さ。他の会社の初任給が3万円ぐらいの時、富士ゼロックスは4万2000円だった。」

「ハセガワの次がハヤシどころにもなかった。1浪して上、卒業まで6年もかかっているのだ。」

「面接官のひとりだった怒。林が母親に頼んで買ってもらったオールドパクな人で、私のことを一を持って、2人で先生おもしろそうじゃないか」と言ってくれ、潜りた。私が「実は就職が決まっ込むことができたんです」と泣す。

富士ゼロックスに入る。理系は日本IBM、阪に配転になっていて、

その引きで長谷川氏も呼ばれたらしかった。入社1年目に同営業所は売上高全国トップを打ち立てた。

東映テラはせがわロイヤルサイボクハム

その引きで長谷川氏も呼ばれたらしかった。入社1年目に同営業所は売上高全国トップを打ち立てた。

(つづく)

語り部の経営者たち

ジャーナリスト 田中幾太郎

はせがわ 長谷川 房生 会長 67歳 ⑤



2012年には東証2部に上場(翌年、東証1部へ指定替え)

配属先の大阪第1営をかぶって、鏡の前で業所が富士ゼロックス 笑顔の練習をしていた。妻は今でもあのこ

なり、そのご褒美で所るのこを思い出して員全員で香港に行っ

た。「すべてが楽しかった。でも、そうしうと考えていた。いつ

も新人社員もみんな燃えていた」

だが、富士ゼロックスにはわずか2年間しかいかなかった。74年、長谷川氏は福岡に戻った。

福岡に帰るかの問題だったんですが、早まったのは、はせがわが想像以上のスピードで大きくなり、それに体制とで苦勞をしていった。事業が伸びていく中で、過重な労働を強い

当時、父・才蔵氏が、社内の反発を生んでいたんです。すぐにやめていく社員も少な

くなかった」

サラリーマン経験がない専務だった兄は人と組織を動かすことに苦勞していた

長谷川氏が富士ゼロックス在籍中の2年目

氏は才蔵氏に「このまに、兄が社員たちから団体交渉を要求され交

渉していると耳に入った。心配になり福岡へ戻ってみると、まさに

兄は交渉の真っ最中であった。大変なことに

いたわけです。この親母・タツさんが生まれ育った奄美大島が3

年暮れ、米国から日本に返還される。翌年春、タツさんは家族と

一緒に20年ぶりに里帰りを果たした。

「お客さまがはせがわに依存してくださって

「うちの母が自分の母に相談したらなんとか

なると思っていただいに喜びを感じる父がい

る。相互依存の関係に

た。それまで軍隊式に小

学生の長谷川氏を叩いてしつづけていた才蔵氏

だが、奄美から帰ると

東映↓テラ↓はせがわ↓ロイヤル↓サイボクハム

(C)11/12

語り部の経営者たち

ジャーナリスト 田中幾太郎

はせがわ長谷川房生会長 67歳

⑥

妻の故郷・奄美大島で、しかに完璧な文章ではないが、初めて肉親の愛を知った父・才蔵氏。これを境に生き方が大きく変わった。

「しきりに『親の恩』を口にするようになる。義母を奄美から福岡に呼び寄せ、一生懸命、親孝行をするんです」

躍進の原動力となった

仏壇業界初の訪問販売



業界で訪問販売が行われた。亡くなった方に心なかつたかというところ、相手を合わせ、先祖代々手から嫌われるからで、人に不幸を商売にするとは何事かと。そんなことが許される時代ではないと、だれもが思い込んでいた。けれど、兄は仏教系の大学を出たばかりで、仏壇屋としてやるべきことがあると考えた。裕一氏は猪突猛進のタイプだった。一度決めたら、真つすぐに突き進むのが常だったが、この時ばかりは押しとどめようとする者がほとんどだった。だが、父・才蔵氏は「内部のことは経理を除く頭ごなしに反対するようになどはしなかった。長谷川家が懇意にしている寺の住職に相談するようにならなかつた。裕一氏に言った。『住職がまず話したところに行くんだから相当、腹を決めなさい』」

もうひとつ変わったことがある。仏壇の仕事に携わる思いを『しおり』にしたためるようになったのだ。その内容は仏を敬うこと、親子の絆、先祖から受け継がれていくことの大切さといったものだった。

「文章に自信がない父は、小学校4年生の私におかしいところがあったら直せというんです。た

「しおり」の言葉を手ラシに刷って、新聞の折り込み広告に使うと、すぐに評判を呼んだ。はせがわだ、長谷川氏は話す。悪の労災事故といわれた。この時、長谷川氏は高校2年、兄・裕一氏は大学を卒業し、はせがわ入社1年目だった。

そのきっかけは63年11月、福岡県大牟田市で起った三井三池炭鉱の炭

「しおり」の言葉を手ラシに刷って、新聞の折り込み広告に使うと、すぐに評判を呼んだ。はせがわだ、長谷川氏は話す。悪の労災事故といわれた。この時、長谷川氏は高校2年、兄・裕一氏は大学を卒業し、はせがわ入社1年目だった。

そのきっかけは63年11月、福岡県大牟田市で起った三井三池炭鉱の炭

「文章に自信がない父は、小学校4年生の私におかしいところがあったら直せというんです。た

「しおり」の言葉を手ラシに刷って、新聞の折り込み広告に使うと、すぐに評判を呼んだ。はせがわだ、長谷川氏は話す。悪の労災事故といわれた。この時、長谷川氏は高校2年、兄・裕一氏は大学を卒業し、はせがわ入社1年目だった。

「しおり」の言葉を手ラシに刷って、新聞の折り込み広告に使うと、すぐに評判を呼んだ。はせがわだ、長谷川氏は話す。悪の労災事故といわれた。この時、長谷川氏は高校2年、兄・裕一氏は大学を卒業し、はせがわ入社1年目だった。

東映 ↓ テラ ↓ はせがわ ↓ ロイヤル ↓ サイボクハム

(つづく)

語り部の経営者たち

ジャーナリスト 田中幾太郎

はせがわ長谷川房生会長 67歳

⑦

1929年に福岡県出。仏壇業界では2番直方市で産声を上げた手を大きく引き離すトはせがわは、その後順ツブ企業に上り詰め調に業績を伸ばし、70た。

不動産投資に失敗

すべてが順風満帆というわけがなかった。最初はフランチャイ

モチはモチ屋で 供養ビジネスに本業回帰

結局、はせがわはホムセンター事業から撤退を決める。単に人材不足の問題だけではなかった。他業種に予算を割くだけの余裕がなくなっていたのだ。その一因は同社が94年から海外で進めて

けにはいかなかった。「バブル崩壊後、本業の成長が止まって、他業種への進出を図るん

程度はノウハウを得るのと、1社を買収しての成長が本格的に参入した。

の事業をひとつの柱にするには、そのためのスタッフを育成しなければならぬ。しか

屋。私たちに本業しかなないと気づかされた。本業回帰といっ

ことができたんです。はせがわの墓石事業は短期間に急伸。その後、停滞した時期もあ



も、仏壇の販売だけではない。仏壇売り上げの伸びが鈍化する中、新たな成長戦略を描く必要があった。そこで、はせがわが目指したのは、供養ビジネスという本業の枠内の多角化である。そのひとつが墓石・墓地事業だった。

人手をかけるに大きな利益が見込めるとの誘い文句と世間の風潮に乗ってしまった。主な投資先は中国、ベトナム、ミャンマー。「欧州の植民地だったベトナムやミャンマー

は契約に関してはしっかりと見込んでいる。中国はそうではない。なかなかに契約の書類は出さないし、もし取り交わしても、ほとんどがインチキ

投資先の通貨が暴落し、不動産も大幅に下落。わずか4〜5年の間に100億円近い損失を出した。

大リストラが始まり、呼応するように墓地も売れなくなってくると、霊園を建立する業者の人たちの仕事もなくなってくる。私が、私たちにどうして

時代だからこそ、新しい仏事供養のやり方や様式があるのではないかと。現代に求められる最高の供養の形を研究開発し、リーズナブルな価格で提供できるようにしたいと考えています」

東映↓テラ↓はせがわ↓ロイヤル↓サイボクハム

▼来週月曜から「ロイヤル」菊地唯夫社長

(おわり)